

令和2年度・令和3年度

本庄早稲田の杜ミュージアム自己点検評価報告書

本庄早稲田の杜ミュージアム自己点検評価報告書は、自己点検評価（一次評価）を行い、さらに本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会による外部点検評価（二次評価）を行うことで、当館が抱える課題の改善を図るものです。

博物館法（抜粋）

（運営の状況に関する評価等）

第九条 博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第九条の二 博物館は、当該博物館の事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該博物館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

自己点検評価（二次評価）

自己点検評価（一次評価）をもとに、本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会による外部点検評価（二次評価）を行いました。

二次評価の結果は次のとおりです。

新型コロナウイルスの影響が長期化する中での開館にも関わらず、多くの来館者を得るなど期待度も高く、地域の文化拠点として認知が広がっています。開館以降、企画展示をはじめ、ワークショップや講座などの教育普及事業が積極的に行われ、参加者から高い満足度を得るなど、事業の充実が図られてきたものと評価いたします。しかしながら、展示の多言語対応や展示に対する来館者評価の実施など、必須な取り組みに対しても課題は残されています。今後も本庄早稲田の杜ミュージアムが目指す姿の実現、さらには博物館活動の充実が図られるよう、改善や見直しを行うとともに、地域に欠くことのできない施設となるよう期待します。

本庄市総合振興計画（前期基本計画）に基づく評価

本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく評価

（一次評価）ある程度できている／ある程度効果的であった

委員から提出された意見等

- ・ 開館が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で約半年遅れ、令和2年10月15日に延期になったにもかかわらず、ある程度目標達成できていることは素晴らしいことです。文化財の保存活用啓発事業に関しても、企画展示、ワークショップや講座、講演会の開催、スタンプラリーなどの各種事業を実施することで、ある程度の効果を上げることができたことは心強く感じます。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で団体の来館者は減少しましたが、企画展等の新規事業により、来館者の減少に歯止めをかけることができました。
- ・ 入館者数の増加がみられることは、事業内容の充実が図られてきたものと考えられます。

本庄早稲田の杜ミュージアムのめざす姿に基づく評価

／本庄早稲田の杜ミュージアムのめざす姿／

- 本庄市と早稲田大学が所蔵する考古資料等を活用した展示その他の教育普及活動を通じて、来館者が本庄市の歴史に親しみ、学ぶための拠点とする
- 周辺の文化財施設や学校、その他関連団体等との連携を図り、地域文化の中核施設としての役割を果たす

(評価区分)

- A 十分にできている B ある程度できている C あまりできていない
D できていない Z その他

／本庄早稲田の杜ミュージアムの取り組み／

- 1 市民共有の財産である考古資料等の調査、研究を行い、展示・教育・出版活動を通じて、市民の誰もが本庄市の長い歴史を身近に感じられる場とする

(一次評価) **B** ある程度できている

委員から提出された意見等

- ・本庄市展示室（常設展示）については、希少な出土品等を一般公開し、市民の皆さん等に知っていただければよいと思います。
- ・企画展については、近隣の市町や早稲田大学等の主催で、個性ある展示がされています。
- ・考古ではない資料についても展示する機会の創出が求められています。
- ・新型コロナウイルスの影響が長期化する中での開館にも関わらず、多くの来館者を得るなど期待度も高く、地域の文化拠点として認知が広がっていると感じます。

- 2 学校教育と連携を図り、学習目的に対応した見学・体験プログラムを提供することで、児童・生徒の歴史学習と拠点となる

(一次評価) **B** ある程度できている

委員から提出された意見等

- ・博学連携事業について校外学習での学校団体等の積極的な受け入れ、見学バスの運行など良い推進が図られています。
- ・児玉郡、群馬県等近隣市町の小学校、中学校、高等学校、大学に来館してもらえるような働きかけを行っていただきたい。

- 3 子どもたちの知的好奇心を喚起し、郷土学習をはじめ、何かを学ぶことや深く知ることの面白さを体感できる環境を創出する

(一次評価) **B** ある程度できている

委員から提出された意見等

- ・校外学習の展示スペースを確保し、資料を児童に分かりやすく説明をお願いします。例として各時代の衣食住の様子が分かる絵と出土した物をセットで展示することで、時

代の様子が理解しやすくなると思います。

- 4 実際に見て、触れることができる実物資料を活用した学習環境をつくるほか、多彩な体験学習の機会を設け、体感的な歴史学習を推進する

(一次評価) **B** ある程度できている

委員から提出された意見等

- ・ワークショップの魅力は体験出来ることだと思います。 イベントの満足度やイベントがあったら参加したいと思いますかの間に参加したいとの回答が多くみられます。 体験からさらなる魅力を発見でき、 展示物を身近に感じられると思います。

- 5 幅広い利用者に対応し、障害のある方や乳幼児連れの家族でも気兼ねなく過ごせる環境づくりを行う

(一次評価) **B** ある程度できている

委員から提出された意見等

- ・働く世代の方を含めた幅広い世代に来てもらうため、夜間の開館日を設ける取り組み(ナイトミュージアム)を検討していただきたい。
- ・親子向けに、ミュージアムでの宿泊が出来るイベントの企画を検討していただきたい。

- 6 前山1号墳や宍勝寺裏埴輪窯跡など貴重な遺跡が所在する恵まれた立地環境を生かし、大久保山・浅見山丘陵全体を博物館として活用する

(一次評価) **B** ある程度できている

委員から提出された意見等

- ・フィールドワークで自分の住んでいる地域をよりよく知ることは大切なことだと思います。 地域を知り、地域の良さを一人一人が発信できれば最高だと思います

- 7 生涯学習や文化推進の拠点施設として、資料の公開のみならず、情報発信力の高い施設づくりを行う

(一次評価) **B** ある程度できている

委員から提出された意見等

- ・地域の偉人、功績についても市民、県民に発信していただきたい。
- ・交流ひろばの有効活用に取り組んでいただきたい。
- ・講演会や講座についてもアンケート結果を見ると、満足度やまた参加したいですかの間が良い結果になっています。 充実した企画の元、実施されていると思います。
- ・総合的に開館以降、企画展示や体験講座等を行い、インスタグラムで情報発信を行うなど、非常に良い取組みをされているという印象です。リピーターを増やすために、歴史や文化に関心が高い市民に定期的にミュージアムを訪れて頂くために引き続き各種工夫を行ったうえで、今後は市民の中でも若い世代やアンテナが高くない方、あるいは児玉郡や近隣市町からもミュージアムへ来館頂けるよう取組むことが重要です。
- ・インスタグラム等、来館者のアカウントにて発信してもらえるような工夫(#〇〇をつけて投稿すると限定ミュージアムグッズがもらえるよ！)を検討していただきたい。
- ・旧本庄商業銀行煉瓦倉庫、塙保己一記念館、競進社模範蚕室と連携し、いずれかの来館

を契機として他施設へ来館してもらえよう取り組んでいただきたい。

- 8 本庄市と早稲田大学が所蔵する資料を積極的に公開し、研究者や市民の主体的な調査研究をサポートする

(一次評価) **B** ある程度できている

委員から提出された意見等

・早稲田大学が所蔵する貴重な品々を企画展で公開して行ってほしいと思います。

- 9 本庄市と早稲田大学が協働し、先端的な調査、研究を推進するとともに、研究者や研究団体の活動に協力し、その成果を展示、学習の場に生かす

(一次評価) **C** あまりできていない

委員から提出された意見等

・早稲田大学との事業継続とも関連することであるが、本庄市と大学との間で、具体的な調査・研究、展示・学習などの具体的なテーマや方法を話し合うための場の整備が急務であると考えられます。

(評価区分)

A 十分できている B ある程度できている C あまりできていない
D できていない Z その他

<A>館長・館の経営責任について

委員から提出された意見等

A04 館長の身分は、常勤である。

(一次評価) **B** ある程度できている

- ・ミュージアムへの館長の常駐を検討していただきたい。

利用者・市民・地域との関係について

委員から提出された意見等

B03 館の広報誌（ニュース・レターなど）を発行している。

(一次評価) **D** できていない

- ・簡単なニュースレター（隔月刊でも、当初は季刊でも可）の発行を早急に模索する必要があると思います。

B10 「ボランティア制度」を導入している。

(一次評価) **Z** その他

- ・旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペースについて、観光ボランティアを配置し、本庄市の歴史と文化を訪れた人に発信できればと思います。

B12 「博物館協議会」などを通じて市民に、館の運営に参画してもらっている。

(一次評価) **B** ある程度できている

- ・運営委員会への公募による委員参画を検討していただきたい。

<C>展示について

委員から提出された意見等

C03 アンケートを実施するなどして、観覧者の満足度を把握している。

(一次評価) **D** できていない

- ・常設展示に対するアンケートは実施し、それを取り入れ、今後の展示の改善を目指す必要があるであろう。
- ・展示のアンケート実施を求めたい。併せて回収率を高める施策も講じ、来館者の情報やニーズ、満足度等を正しく把握し、今後の活動の指針として活用する方法を考えていただきたい。

C08 館内の案内表示を外国語で行ったり、外国語による案内パンフレットを作成したり、外国

人向けの館内案内を行っている。

(一次評価) **B** ある程度できている ⇒ **C** あまりできていない

- ・「館内配布のパンフレットに英語を併記している他、館内にて放映している映像に英語版がある。」として、「ある程度できている」との評価をしているが、甚だ不十分であると思います。主要な展示物のタイトルなどは日本語・英語の併記は不可欠であり、ある程度の解説を展示できるスペースでは、英文による解説も必須であろう。順路や館内の案内展示、またパンフレットなどでは、英語だけではなく中国語・韓国語での記述は十分考慮すべきであると考えます。音声ガイダンスなども将来的には、多言語対応を積極的に考えていくことが望ましいと思います。

C09 特別展・企画展の図録を刊行している。

(一次評価) **Z** その他

- ・企画展等の図録販売を検討していただきたい。

<D>教育普及について

委員から提出された意見等

D12 博物館実習の実習生を受け入れている。

(一次評価) **D** できていない

- ・令和2・3年度は受入れを行わなかったが、令和4年度は受け入れを予定しているということで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったことから、令和2・3年は困難であったことがうかがえ、特に問題ではないと考えます。

<E>学芸員・一般職員について

委員から提出された意見等

E02 学芸員を専門職として採用している。

(一次評価) **B** ある程度できている

- ・学芸員資格を有する正職員の採用（専門枠で）、考古以外を専門（中近世や近現代）とする職員の配置を検討していただきたい。

<F>調査研究について

委員から提出された意見等

F08 調査研究の経過・成果を紀要や報告書などで外部に公表している。

(一次評価) **A** 十分できている

- ・考古分野以外の論文掲載も検討していただきたい。

<G> 資料・コレクションについて

委員から提出された意見等

G01 館として資料収集の方針を策定している。

(一次評価) **D** できていない

・ 早急に策定する必要があります。

G02 法令、条約、倫理規程などを遵守して資料収集するために、館としてガイドラインを策定している。

(一次評価) **D** できていない

・ 早急に策定する必要があります。

<H>施設・アメニティーについて

委員から提出された意見等

H07 バリアフリー化について、改善が必要な個所を把握するための自己点検を実施している。

(一次評価) **B** ある程度できている

・ バリアフリー化には、「ある程度」ということはないと思うので、常により良い施設にするように、日常的により良い施設となるように考え、休憩スペースやトイレなどの表示やより使いやすい施設へととしていていただきたい。